

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(科学技術科)科目:(BT概論) 対象:(第2学年) 単位数:(1単位)

使用教材 : (なし)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	ガイダンス	学習内容の確認。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	微生物学の歴史	微生物学の歴史について学ぶ。		1
	微生物学の歴史	微生物学の歴史について学ぶ。		1
5月	部生物の分類	微生物の分類について理解を深める。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	微生物の命名	微生物の命名方法について学び、代表的な微生物名を知る。		1
	微生物の種類(真正細菌、古細菌、真菌)	真正細菌、古細菌、真菌について理解を深める。		1
	微生物の種類(原生生物、ウイルス)	原生生物、ウイルスについて理解を深める。		1
6月	原核生物と真核生物	原生生物と真核生物の違いを学ぶ。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	生育曲線	微生物の生育について学び、生育曲線について理解する。		1
	微生物の生育条件	微生物の生育条件について学ぶ。		1
	細菌	細菌の種類、形態について学ぶ。		1
7月	期末考査		期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	放線菌、真菌	放線菌、真菌の種類、形態、活用について学ぶ。		1
	酵母	酵母の種類、形態、活用について学ぶ。		1

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(科学技術科)科目:(BT概論) 対象:(第2学年) 単位数:(1単位)

使用教材 : (なし)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	病原性微生物(常在菌、食中毒原因菌)	常在菌、食中毒原因菌について理解を深める。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	細菌、真菌、原虫の感染症、ウイルス疾患	細菌、真菌、原虫の感染症について理解を深める。		1
	遺伝子工学(DNAの構造、複製、転写、翻訳)	DNAについて再確認し、理解を深める。		1
	遺伝子工学(DNAの構造、複製、転写、翻訳)	DNAについて再確認し、理解を深める。		1
10月	プラスミド、遺伝子操作	プラスミド、遺伝子操作について学ぶ。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	PCR	PCRの原理を学ぶ。		1
	遺伝子発現と制御	遺伝子発言と制御について学ぶ。		1
	発酵工業(アルコール発酵、有機酸発酵)	発酵工業について理解を深める。		1
11月	発酵工業(アルコール発酵、有機酸発酵)	発酵工業について理解を深める。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	発酵工業(大豆発酵食品、水産発酵食品)	発酵工業について理解を深める。		1
	発酵工業(大豆発酵食品、水産発酵食品)	発酵工業について理解を深める。		1
	乳製品、その他の発酵食品	乳製品やその他の発酵食品について理解を深める。		1
12月	期末考査		期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	環境修復(排水処理)	環境修復について理解を深める。		1
	環境修復(バイオレメディエーション)	環境修復について理解を深める。		1

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(科学技術科)科目:(BT概論) 対象:(第2学年) 単位数:(1単位)

使用教材 : (なし)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	酵素の種類と作用	酵素の種類と作用について学ぶ。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	酵素の構造と作用	酵素の構造と作用について学ぶ。		1
	酵素の反応条件	酵素の反応条件について学ぶ。		1
	酵素の利用	酵素の利用について理解を深める。		1
2 月	酵素の利用	酵素の利用について理解を深める。	期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	食品工業	食品工業について理解を深める。		1
	食品工業	食品工業について理解を深める。		1
	医薬品、酵素洗剤	医薬品酵素洗剤について理解を深める。		1
3 月	学年末考査		期末考査や授業への取り組みなどと各観点を総合的に判断し評価する。	1
	微生物の代謝 (化学合成独立栄養微生物)	微生物の代謝について学ぶ。		1
	極限環境微生物	極限環境微生物について学ぶ。		1